

(独)防災科学技術研究所と協力し、防災に関するインターネットサイト「小林市ポータル」を実験的に運用しています。市内の自主防災組織が作成した防災マップなどを閲覧できます。市民協働による防災の取り組みをのぞいてみませんか。(問：小林市市民活動支援センターTel.27-3177)



News 赤い羽根共同募金
地域の福祉のために活用
細野小で集められた募金寄贈



同校児童と種子田会長。「思いの詰まった募金。大切にさせていただきます」と種子田会長

市内各小中学校で行われている「赤い羽根共同募金」。細野小では、11月11日、贈呈式が行われました。同校児童が全校児童から集めた募金5694円を社会福祉協議会の種子田興市会長に贈呈。代表して同校6年の平野一輝さんと小川磨美さんが「みんなで協力して集めました。福祉のために大切にしてください」とあいさつしました。集められた募金は、地域福祉活動などに使われます。

News オレンジ米プロジェクト
永久津小・中の児童・生徒ら
認知症高齢者と稲刈り

永久津小5・6年生と同中全校生徒らが認知症の高齢者と認知症サポーターリーダーとで6月に植えた稲の収穫を行いました。児童・生徒には認知症への理解を、認知症患者には農作業を通じて症状の緩和を図ることが目的。同小5年の大平悠太さんは「みんなで協力してできたので良かった。またやってみよう」と話していました。12月6日には収穫祭を開催し、餅つき大会を行う予定です。



田植えをする児童・生徒ら。収穫した米の一部は、オレンジ米として販売される予定です

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、野尻地区

耕作放棄地解消のため薬草など活用した先進地視察

輝けフロンティアのじりの地域整備委員会で、高齢者の生きがいづくりを目的に、薬草・ハーブを活用した耕作放棄地解消事業に取り組んでいます。10月20日、同委員会古川幸廣委員長や技術協力をしている県薬草センター職員、ハーブ愛好会、JA

職員など10人で市内2カ所(黒沢津地区・立野地区)と熊本県あさぎり町(あさぎり薬草生産組合)を視察。栽培方法や収穫方法、管理方法などを学びました。古川委員長は「学んだことを今後の活動に生かすため検討していきます」と話していました。



試験圃場で栽培を行い小面積から推進していきます。



輝けフロンティアのじり地域整備委員会古川幸廣委員長

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

こばやし協働 Info & News
インフォ アンド ニュース

News 地域医療
地域包括ケアの構築のために
地域医療講演会を開催

住み慣れた地域でいつまでも暮らせるまちづくりを目指すため、西諸医師会主催の地域医療講演会が、10月29日、文化会館で行われました。宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座の吉村学教授が講師として登壇。吉村教授は、医療従事者の連携に加え、地域住民を巻き込むことの重要性を説き、「地域の絆や郷土愛を育むための体制の整備をしていかなければならない」と訴えました。



講演する吉村教授。会には医療関係者や地域住民など約280人が来場し、理解を深めました

News 奉仕作業
シルバー人材センター会員
市内一円で奉仕作業



会員らによる奉仕作業。市内各地で、草刈りやごみ拾いなどが行われました

10月は、シルバー事業普及啓発促進月間。市シルバー人材センターでは、同24日に恒例の奉仕作業を行いました。同センターの会員らが参加し、13班に分かれて市内各地の清掃や草刈りなどを実施。窪田明雄理事長は「自分たちができる範囲で、地域の皆さんが通る道を私たちの手で安全に、きれいにできれば」と話していました。翌24日には、同センター前広場でシルバーフェスタを開催しました。

Info 小林市防災・防犯メールの登録者数1万人を突破!



災害や身近な防犯情報をお届けする「小林市防災・防犯メール」。11月17日、市で目標にしていた登録者数1万人を突破しました。防災・防犯メールは、今後も「九州一安心・安全なまちづくり」の推進のため継続していきます。まだ登録して

いない人は、いざという時のために、ぜひ登録をお願いします。携帯電話やスマートフォンのカメラ機能で、右のQRコードを読み取り、本文に「ほうさい」と入力し、送信すると登録できます。(問：危機管理課 Tel.23-1175)



QRコード